

# 平成18年5月 教育研究評議会議事録（案）

・日 時 平成18年5月18日（木）14時02分～16時11分

・場 所 事務局第1会議室

・出席者 古在学長，山根，宮崎，天野，安田，藤澤，各理事  
西村，明石，柿原，廣井，石垣，野口，菊池，秋元，金子，堀江，遠藤，  
齋藤，西尾，三上，伊勢崎，上野，北村，山内，嶋津，三宅，安藤，  
宮埜，田村，多賀谷，辻，正木，小倉，犬伏，中谷，石川，島倉，河野，  
土屋，三橋，各評議員（40名）  
陪 席：木南監事，長尾副理事，伊藤副理事  
（欠席者：徳久，守屋）

・前回教育研究評議会議事録について  
原案どおり承認された。

・審議事項

1．諸規程について

学長から平成18年4月に新たに設置した各機構及び企画室等の組織変更に伴う諸規程の制定，改正について審議願いたい旨提案があった後，前田企画総務部長から部局長連絡会以後の変更点を含め資料4に基づき説明があり，了承された。

なお，前田企画総務部長から各機構，各企画室等の構成員の名簿については，現在作成中であり，おって各部局に配布するとともにホームページ等にも掲載する予定である旨発言があった。

また，各構成員（委員）の発令委嘱は，現在作成中の名簿の配布及びホームページの掲載をもって代える旨併せて発言があった。

更に学長から組織の変更等について，各教職員に周知徹底願いたい旨発言があった。

2．平成17年度業務実績報告書（素案）について

学長から平成17年度業務実績報告書（素案）の内容について審議願いたい旨提案があった後，天野理事から資料2に基づき説明があり，意見がある場合には5月末日までに企画政策課評価係宛提出願いたい旨発言があった。引き続き，学長から今後経営協議会及び役員会で審議のうえ決定し6月末日までに国立大学法人評価委員会に提出する旨発言があった。

### 3．学長が任命する経営協議会の学外委員について

学長から千葉大学経営協議会規程第2条第1項第4号に規定する学外委員に、資料3のとおり任命したい旨提案があり、審議の結果、了承された。

### 4．平成19年度千葉大学入学試験日程（案）について

学長から平成19年度千葉大学入学試験日程（案）について審議願いたい旨提案があった後、宮崎理事から資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

## ．報告事項

### 1．教員の削減計画（総人件費改革の実行計画対応）について

安田理事から国際教育開発センターの再編等を反映した教員の削減計画（案）について及び教員の1年間不補充の取扱い等について資料5に基づき説明があった。

引き続き、組織・人員計画委員会（仮称）の設置について資料に基づき説明があった。

主な意見は次のとおり

- ・人事計画検討委員会報告(平成18年1月17日)を熟読していただきたい。同報告を前提として更に議論を進めることとしている。
- ・組織・人員計画委員会（仮称）においては、過去の経緯等を十分に理解したうえで議論をしてほしい。
- ・前向きな、教育研究の本質論を十分に踏まえて議論したい。
- ・単なる人件費からの問題ではなく、千葉大学憲章等を踏まえ千葉大学の教育研究を如何にすべきかを考えた議論を行う。
- ・単に人員減では、学部の存続に係わる。
- ・組織・人員計画委員会（仮称）では、必ずしも学部が存続することを前提としない。
- ・組織・人員計画委員会（仮称）委員については部局の代表ではなく、全学的な観点で依頼した。
- ・人員の減に関しては、優秀な研究者ほど配置換、転出等によって異動するため、教育研究の質の低下が懸念される。
- ・総人件費削減の考え方でのアプローチは定員の概念とは異なる考え方で進むとすると、平成21年以降の概算はどのようになるのか。
- ・定員枠の考え方は法人化後無いが、退職手当等の算定では事実上ある。

### 2．平成18年度千葉大学グランドフェローについて

学長から平成18年度千葉大学グランドフェローについて資料6に基づき報告があった。

3．個人情報保護管理者研修の開催について

安田理事から6月13日開催予定である個人情報保護管理者研修について資料7に基づき説明があった。

4．平成18年春の叙勲について

学長から平成18年春の叙勲受章者(2名)について資料8に基づき報告があった。

5．セクシュアル・ハラスメント等の防止等について

安田理事から本年4月に改正されたセクシュアル・ハラスメント等の防止等に関する規程等について資料9に基づき説明があった後、各部局教職員への周知・徹底を願いたい旨発言があった。

6．平成18年度学長と学生との懇談会(案)について

宮崎理事から平成18年度学長と学生との懇談会(案)について資料10に基づき説明があり、参加学生の推薦について協力願いたい旨発言があった。なお、終了時間(18時)については、昨年の状況から延長することが考えられるので、その旨学生等に周知願いたい旨発言があった。

また、懇談会の内容については昨年同様に学内ホームページ(学長と学生との懇談会の記録)等で周知することとしている旨発言があった。

7．インキュベーション施設について

中谷副理事からインキュベーション施設の設置に向けた進捗状況の説明があった。

説明概要は次のとおり

- ・千葉県、千葉市との協力を得て、設置場所は亥鼻地区真菌医学研究センター前、予算額8.2億円(中小企業整備基盤機構、経済産業省から)、4階建て、延べ2,800㎡、平成19年6月末完成予定である。
- ・本年7～9月に埋蔵文化財調査を行う。
- ・千葉大学、千葉県、千葉市、中小企業整備基盤機構から委員を選出し運営準備委員会を立ち上げ、事業計画、運営、入居者の選定等を行う。
- ・建物、駐車場等の管理については、中小企業整備基盤機構からインキュベーションマネージャーとして1名程度、また、千葉市から2名程度派遣され、千葉大学産学連携・知的財産機構と協力して行う。
- ・建設のため住民説明会を7月9日(日)に医学部記念講堂で行う。

8．平成17年度光熱水料について

加納施設研究部長から平成17年度光熱水料の節減結果について資料11に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

- ・平成17年度は目標値には届かなかったが、18年度も是非継続したい。
- ・部局によって取り組み方に違いがある。

9．外国人研究者への「千葉大学招へい教授」称号付与について

西尾環境リモートセンシング研究センター長から千葉大学外国人研究者受入規程第14条の基づく「千葉大学招へい教授」の称号付与（2名）について資料12に基づき報告があった。

10．春の防災訓練について

藤澤理事から5月12日実施した春の防災訓練にかかる協力の御礼と消防署による講評等について報告があった。

以 上